

女性のための伴走型就労支援事業【兵庫県宝塚市】

地域の実情と課題

令和元年度(2019年度)宝塚市労働実態調査における女性の雇用形態別の就業率は、「正社員」40.2%、次いで「中長期アルバイト・パート」36.3%となっている。このような環境において、女性の労働力率は増加しているものの、コロナ禍の現在、様々な理由で就労を維持できず、生活が困窮している女性が存在する。また経済的困窮に限らず、不安を抱える女性の社会とのつながりを回復することが課題である。

事業の特徴

- 対面での相談だけでなく、電話相談やチャット相談、アウトリーチ型の相談といった、対象者の希望や状況に幅広く対応できる相談体制の用意。
- 複数のワークを通じて、自己理解やキャリアプランについて考えることができるテキスト冊子の作成(就労に関する相談窓口以外にもさまざまな相談機関の一覧を掲載。)
- 就労に欠かすことのできない技能の習得支援としてパソコン講座の実施。

事業の効果

事業開始日から相談が入り、その後も想定していた以上の反響があり、長引くコロナ禍で就労も含め困難を抱える女性が多いことがわかった。(相談件数累計 220件)
居場所事業についても、「参加者同士がもともと知り合いでない分、気軽に話すことができた」「悩んでいるのが自分ひとりじゃないとわかってよかった」と、ほっと一息つくことができる居場所として多くの方に活用いただけた。(居場所参加者累計 38人)

目的・目標

【目的】コロナ禍の影響を受け、様々な事情により孤立し不安を抱える女性(主に無業の方)に対して気軽に相談でき、継続的に支援してもらうことのできる場を提供し、希望する進路決定(就労、職業訓練、ほかの支援機関への誘導)を通じて、社会とのつながりを回復する。

- 【目標】①より適切な支援機関への誘導件数 7件(目標値15件)
②就労件数 17件(目標値2件)

連携団体

就労支援のノウハウを持つ認定NPO法人宝塚NPOセンターへ委託し令和3年11月より事業実施。
チラシやテキスト冊子を、市内公共施設のほか、ワークサポート宝塚や宝塚市社会福祉協議会等関係機関で配布した。特に、ハローワーク西宮及び兵庫労働局とは別途協議を行い、対象者の希望や状況に合わせ、より適した相談先へ誘導できるよう、連携することとした。

今後の課題

アウトリーチ相談を相談体制の1つとして用意したものの、相談者の多くが、一時保育や家族の支援もあり、小さな子どもがいたとしても短時間であれば対面での相談や電話相談が可能であったため、利用には至らなかった。ただし、実際に就労を目指すとなると、長期休暇中に子どもを預けられる先がないなど、保育施設の利用ができず就労に結びつかないケースが多かった。今後、相談先の充実だけでなく、就労を妨げる原因の解消に努める必要がある。

事業の概要

はたらくスタートIPPOと題して、令和3年11月より事業実施。(委託先:認定NPO法人 宝塚NPOセンター)

(1) 相談業務(相談事業IPPO)

対面の相談だけでなく、電話相談やチャット相談を実施し、対象者の希望や適性に即した進路決定(就労、職業訓練、ほかの支援機関への誘導)を支援した。

【実績】・相談件数 220件(対面 161件・電話 55件・チャット 4件)

・就職件数 17件

(2) 進路決定に向けた技能習得支援業務(IPPOパソコン講座・職場体験)

就労に欠かすことのできない技能の習得支援としてパソコン講座を実施した。(初級編、中級編、実践編の3日間のコース×4回) 加えて、パソコン講座参加者の内、希望した者に対して、より仕事に直結した技能が習得できるフォローアップ講座を実施した。

また、対象者の希望や特性に応じ、職場体験受入れ可能事業者とのマッチングを実施し、職場体験を行った。

【実績】・パソコン講座参加者累計 40人

・職場体験利用者 1人

(3) 居場所づくり業務(居場所IPPO)

悩みを抱えた女性が気軽に集まることのできる場を週1回(毎週水曜日 16:30~18:00) 提供し、同じ不安を抱える人や、様々な経験や自身のスキルを活かしている人と話をする機会を設け、対象者自身の将来を考えるきっかけづくりを行った。

【実績】・開催回数 14回

(2022/1/27~2/28の期間においては新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)

・参加者累計 38人

(4) テキスト冊子(IPPOワークBOOK)の作成

自分自身を振り返り、今後具体的にどのように進路決定に向けて取り組んでいくか、複数のワークをこなしながら考えることのできるテキスト冊子を作成し、市役所の相談窓口や公共施設、関係機関などを通じて対象者へ配布した。

IPPOワークBOOK ▶

ワークブックやチラシは、希望を胸に、光の射す方を見つめる女性をメインビジュアルとして使用し、悩みを抱える女性の背中を後押し

▼ 居場所IPPOの様子

